

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）について 市民説明会
日時	平成 27 年 9 月 8 日（火） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 53 分
会場	中野市立豊井小学校体育館
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 100 人・教育委員会出席者 11 人 教育委員 5 人、教育委員会事務局 6 人・報道機関 2 人
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 基本方針（案）について4 質疑5 閉会
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

- 1 開会 進行：教育次長
- 2 あいさつ 教育委員長
- 3 基本方針（案）について 学校教育課長から資料に基づき説明

4 質疑

意見

- 豊田地区の小中学校の適正規模を考える会の会長を務めさせていただいております。豊田地区の皆さんにアンケートを取ることになりまして、この機会にアンケートの結果を説明させていただきます。特に多かったのが高社中学校区への統合の反対が7通、豊田地域校区の維持をしていただきたいという意見、豊田地域から学校が無くなると、将来子どもが帰ってこなくなるという意見、地域との繋がりもなくなってしまうのではないかという意見がありました。また、この大規模な方針案が11月に決定するのは、性急すぎるという意見も多数ありました。又、将来豊田地域に人口が増えるような政策をとっていただきたいという意見が大勢ありましたので報告させていただきます。
- このアンケートをとって一番感じることは、学校というのは地域と切っては切れない関係が非常に大きいと感じました。再来年には信州型コミュニティースクールという計画があると聞いていますが、これは学校と地域が時に願いを共有しながら一緒になって子どもを育てるということだと聞いています。学校があってはじめてコミュニティースクールができると思います。この方針（案）のはじめにというところに、理解と協力をお願いしたいと書いてあります。そこにはやはり保護者の方、地域の方の理解と協力の上、納得というのが必要になってくると思います。私たち地域の皆さんと保護者もそうですけど教育委員会の皆さんと対立していくとういうことはまずい。ですからお互いに理解、協力もあります地域の方そして保護者が納得した段階で進めていくことが大事ななと思っておりますので、私のお礼と意見を述べさせていただきました。そんなことも含めましてやはりこの説明会を有意義なものにさせていただきたいと思います。

意見

- この話がありましたのは6月末の新聞発表ですが、その後PTAの評議委員会の後に説明会をしていただき、その席上でまず質問事項を3点させていただき、回答は今日いただけたということでした。まず、9月末まで説明会を開き、意見要望を聞き取るという説明でした。市議会の定例会議が9月で終了しているにもかかわらず、11月に方針決定などということで市長はあくまでも行政の執行者であり、いま民主主義でありますから、議会の議決がなければ予算決定等は進まないはずだと思いますが、それはどのような感じなのでしょうか。

- また地域理解を前提としているということですが、周知期間と説明会の回数についても足りないのではないですかとお話をして、日程について見直しは考えられませんかとお話ししたところ今のところ日程ありきではないですけれども 11 月に決定するとお聞きしております。まずその点について答えをお願いします。

回答

- 9月30日まで説明会を開催し、いただいた意見を検討させていただいて、再度皆様にお示しし、その後に議会にもご理解いただいた中で順次進めていきたいと思えます。

意見

- ですから議会の承認というのは12月ですか。それなら、11月に決定ということは無理ということではよろしいでしょうか。

回答

- 全地区を回ったあと、再度検討させていただきたいということでご理解をお願いします。

意見

- 議会の議決はどうなるのですかと聞いています。

回答

- 今の段階では、12月議会で決定するとかご理解をいただくとか言い切れないということとです。

意見

- 11月決定は無理かということを知っている。

回答

- 現在の認識では厳しい状況にあると、無理という風にご理解をいただいてもよろしいかと思えます。

意見

- 次に、審議会名簿を確認させていただきましたが、旧中野市内で偏っています。特に区長さんについては豊田地区が1人も入っていないし、反対だと聞いている日野区長さんも入っていない。又、学校関係につきましては市内に15校ある中で豊田地域には3校ございますが5分の1あるにもかかわらず7校の中に含まれていない。これどういう理由で豊田地域を外されたのかお聞きしたい。

回答

- あくまでも各団体にご推薦いただいたと結果であり、公募でも申し上げている。決して意図的に偏った委員さんを選んだということは毛頭ございませんのでご理解をいただきたい。

意見

- どこが推薦しているのか分かりませんが、今後会議等を行う際には公平な委員の配置をお願いしたいと思います。
- 3つ目ですが、保護者宛てのアンケートを実施したとあり、資料9 作業部会の検討まとめをインターネットで確認しまして、(5)で大規模校についてアンケートでそれほど過大ではないと付記したにもかかわらず何らかの対策求むというのが半数以上あったと記載があります。こちらについて考えると、今回小規模校のことだけを検討されているが大規模校についても親の心配は大きくあると考えられるが、今回大規模校には一切触れず小規模校だけの見直しなのか。大規模校までを考えるのであれば全ての通学区から見直して検討するべきではあると考えるがいかがでしょうか。

回答

- 大規模校に手を出していないとお話ですが、今回全ての学校を対象に内情を調べ検討して参りました。通学区については行政的な区割りもありますのでこれを行うには行政関係のご理解をいただかなければいけない。一番大きな学校も過去には通学区を含み検討した時期がありますが、検討当時の児童数と比べて約半分の児童数となっており、長野県内でも超過大校という部類には属しておりません。他の市内の学級ひと1ケタという学校と比べるとその落差は大きいと思うが、いずれ減少傾向にあるということで、決して超過大校ではないという認識で検討しております。

意見

- 大規模校の保護者も心配している声があるのに、なぜ手を付けないのか。この際全部手を付けて均等にしてもいいのではないのでしょうか。

回答

- 全地区に説明を行い、ご意見をいただいた上で再度検討させていただきます。

意見

- 説明の中で気になったのが、統合する場合は対等であるとおっしゃったが、そういう場合には中野市の学校名は全部変わるということでいいのでしょうか。

回答

- 吸収するという検討はしていません。校名、校歌、校章など含め検討しています。対等ということは校名もその辺に含まれております。

意見

- 審議会の答申では1学級 25人になっていました。そして適正規模適正配置の実現に向けた政策推進においては、関係する学校と地域の伝統歴史、住民の意見や心情、既存の学校施設の状況や通学距離や手段を十分考慮し丁寧に時間をかけて計画を決定することが重要であると書かれています。この辺が審議会の答申の柱だと思いますが、今回の6月に出された意見を11月に決定する。あるいは、1学級の人数を30人とするということは審議会の答申を反映していないのではないのでしょうか。

回答

- 審議会の答申を尊重するというので、25人とか学級数はどうするかを非常に悩んだところでございます。教育現場の先生からも、その位がちょうどいいという意見もあります。ただ、県の編成基準ですべて教員数が決まるので、もし25人で編成した場合、県費正規職員が配当されず、先生数が不足し、専科の音楽の先生などはどうなるんだ、規模が大きくなると養護教諭、生徒指導の先生などいろいろなところに影響してきますので、十分検討した結果でございます。

意見

- 審議会の意見を尊重するというのであれば、30人が長野県の規格であるならそれを基準で話し合わないと審議会はおかしくなるのではないですか。十分丁寧に時間をかけて審議するというのに6月で11月、しかも議会への説明会で全議員さんが聞いて、その質問が全然できないような状況で決めてしまうというのが懸念される。ちょうど国で行われているなんとか法案の状況と同じようで心配です。

回答

- スケジュールについては、議会のこともありますが説明会が終わった後再度検討します。地域住民やPTAの皆様にはもちろん理解をいただかなければなりません。議会の皆さんも住民代表でありますから、丁寧に説明させていただきご意見拝聴して進めたいと思います。

意見

- 豊田地域の小中一貫校が高社中学校との統合を検討しなければいけないとありますが、統合した場合には豊田中学は高社中学校へ、豊井・永田小学校は平岡小学校へ行くようになるのでしょうか。

回答

- いずれ高社中学校区という記載がありますが、これについては説明会のご意見を聞いて再度検討させていただきたいと思います。

意見

- 小中一貫校というのは審議会でも後ろの方に少し記載がありましたが、豊田中学校は校舎一体型とされているが、豊井・永田小学校が豊田中に入って校舎は人数的に大丈夫なのでしょうか。

回答

- 統合した場合には小学校の6クラス分が不足するわけですが、教育環境が悪くならないように整備することを検討していきます。

意見

- 保健室やトイレは小学校用、中学校用が必要であると思います。昔、豊井小学校と中学校が渡り廊下を挟んで違っていました。中学3年生は受験勉強をしているときに小学1年生が騒いでいるような環境ではもとにある教育の充実は遠い話になってしまいます。豊田中学校が小中一貫校になるとしたらその辺の環境が大丈夫であれば話の土俵に上がっていてもいいわけですがこの辺が一番懸念されるところです。

意見

- 検討した結果を住民に示していただかないと判断できないので、示していただきたいと思います。また、高社中学校に統合した場合に通学者の徒歩、自転車、バス通学者の内訳はどのように推計されておりますか。

回答

- 手元に資料がありませんので後ほどお知らせしたいと思います。

意見

- どのような手段でお知らせいただけますでしょうか。

回答

- 方法は学校を通すか考える会を通すか相談させてください。

意見

- いずれにしても、大規模な統廃合案ですので、バス通学が増えるようになり、同時刻に複数台のバス運行も必要になると思いますので、必要経費もかかりますが、よく検討してください。

回答

- バスにつきましては、地区ごとに細かく小型車等で対応することも考えており、保護者の方に負担にならないように配慮したいと思います。

意見

- 中学校になれば部活等もあり 1 便では対応できないようなこともあると思いますのでお願いします。

意見

- 豊井・永田小学校の統合には賛成ですが、小学校と中学校の統合には反対です。理由は、校舎は人口の多いところにあるのが合理的であるということです。どういうことかということ、小学生は保護者の送迎が何かと発生します。仮に豊田小中学校になることにより送迎が必要な範囲が豊井小学校舎を利用した場合と比較すると多くなるということです。次に、小学生と中学生が校舎で設備を共有することは環境が悪くなる恐れがある。小学生は中学生に対し萎縮しのびのびと学校生活を送れず、中学生は小学生の発する騒音等で授業やクラブで集中することができなくなる恐れがあることと体育館、プール、校庭の共有には大変無理がある。小中一貫には大変デメリットがあると思います。次に豊田地域は校舎一体型の小中一貫校、ほかの地域は校舎分離型の小中一貫校という違いはなぜなのか。小中一貫校のメリットはどんなことでしょうか。

回答

- 豊田地域の小中一貫校についてですが、豊井小学校、永田小学校、豊田中学校の教育の中身について教育委員会で良く見させていただきました、豊田中学と豊井小については、ふるさと学習ということを学校の教育指導方針で位置付けておまして、豊田中学は6から7つの柱に分けて取り組んでおります。豊井小学校についても総合学習においてランドデザインの中に入れて取り組んでおります。永田小学校はランドデザインを見る限り、ふるさと学習とは銘打っておりませんが、日本の原風景を大事にしながら高野辰之先生のふるさとということを学習しています。こうした各小中学校の教育内容を見た結果、豊田中学のあの位置で、ふるさと学習を継続してカリキュラムの中に位置づけていきたい。指導しなければいけない基準は、学習指導要領で決まっていますが、ふるさと学習は、総合学習で位置付け、先生方やPTAの方々と相談しながら一体でやった方がいいのではないかと考えました。小中一貫校についてのメリット、デメリットについては、100%良い悪いというものではありません。信濃小中の話ですが、スライドを見せていただいて説明も受けましたが、小さい小学校一年生と大きな中三の子どもが抱っこしている姿も珍しいものではないとお聞きました。学習で小さな子どもの声が聞こえると授業の支障になるのではということですが、教室の配置についても工夫をしているので、全然問題はありませんとおっしゃっていました。お聞きした話の一端ではございますがご紹介いたしました。

意見

- 小学校の統合を考える前に人口減少対策を検討するべきだと思います。審議会の中では全然議論されていないようですが、そのような中で学校をなくすということは、人口減少に拍車をかけると思います。それと通学区の変更について行政関係の理解が必要なのでやらないとおっしゃったが、学校をなくすという方が行政関係の理解が必要だと思います。通学区の変更をして、高丘小学校へ平野小学校の一部が来てくれる方が2クラスになるので、行政関係の理解が得られると思います。

回答

- 学校が無くなれば地域が廃れるというご意見はたくさんいただいており、地域の活性化や大切な郷里というものを背負っていることも理解しております。減少対策というのは市全体で考えていくもので、現在市でも人口減少対策について、市民の皆さんのご意見を頂戴する機会を設ける予定でいます。
- 通学区の見直しや行政区の見直し等も検討したのですが、今回の基本方針案の中ではそうしないことがベストと考え、お示しさせていただきましたのでお願いします。

意見

- 行政の理解とはどういうものなのか。

回答

- 行政関係の理解とは、議会、区長会、市の色々な部署がございます。関係者とまめに連絡をとりあわなければならないという意味で申しあげました。

意見

- 先ほどから答弁を聞いていると、前にいらっしゃる7名の方は自分たちがどういう立場でここにいるのか理解していらっしゃらないなと感じます。今回の基本方針案が市としての計画なのか教育委員会だけの計画なのかその辺をはっきりしていただきたい。多分に使い分けて責任逃れを続けている感じです。
- 審議会について、当事者として内容をお話しします。審議会は適正規模適正配置について2年間に数十回にわたって議論しました。審議会は教育委員会から聞かれたことについて答えるだけです。聞かれたことは適正規模適正配置について答申をお願いします。とこれだけです。人数の適正を検討してくれというだけで統廃合について総合的に議論してくれという審議会ではありません。それなのに審議会の答申を基に統廃合を進めるというのはあまりに乱暴な進め方ではないでしょうか。学校とは皆さんの意見のようにその地域の親や子、地域住民の拠り所という面もあって、人数の観点から決められるものではないと思います。学校の統廃合に当たっては、過疎化に繋がらないかどうか、地域の伝承や文化の継承が阻害されないかどうか、地域の学校に対する愛着が保たれるかどうか、あるいは通学における利便性や安全性が保たれるかどうかなど様々な観点から

検討して決められるはずなのに、適正な理想的な人数はどうかということだけを審議会に諮っただけで今回の結果を進めているように感じます。先ほどの様々な検討はいつどのように検討したのでしょうか。それぞれの項目ごとに審議会を設けるぐらいの慎重な議論を進めていただきたいと思います。審議会としては適正規模適正配置について答えるというだけですので、保護者アンケートや教師への聞き取りをもとに一クラスの人数については25人、それに基づく適正な配置を進めろと答えただけです。それ以外の項目について教育委員会としてどのような場でどのような形で進めるつもりなのか、あるいはそれはすでに検討は済ませたのか聞かせていただきたいと思います。倭地区の説明会にも出ましたが、その時は11月決定という日程について撤回はされませんでした。今日は正式に撤回していただきました。小学校の統廃合については住民合意のもとに地域主権の時代の平等だと私は思います。基本方針案を読んでいただければ分かるように住民の協議を行いながら決めると書いてあって、倭の説明会では住民の協議を行うことを確約しているはずですが、子どものためというがスクールバスの問題についてもまだ何の検討もしてないです。小学生になったら子供独自の世界というのがたくさん出てきます。皆さんの子ども時代を振り返ってみれば学校から帰ってランドセルを置いて友達の家遊びに行くなんてことが小学生になったら出てきます。そういう時にスクールバスになったらそういう時子どもの交流をどう保障するのか細かいことは何の検討もされていなくてどこが子どものためなのか疑問に思います。

意見

- この案を答申したのは誰ですか。

回答

- 諮問したのは教育委員会で、答申したのは審議会委員です。

意見

- 審議会で聞かれたのは人数だけなので、答申の主文としては人数だけなのですが、懸念があったので過疎化の問題とか地域伝統文化とかの関係とかも慎重に議論をして進めるようにとただし書きで付け加えたということです。
- それがいつの間にか統廃合になっていますが、どこで統廃合が主になったのでしょうか。

回答

- 協議の場を設けるといことなのですが、9月30日の説明会を終了後ということでご理解いただきたいと思います。
- どのように設けるは別にして、住民の協議の場を聞く機会は考えたいと思います。

意見

- みんなの意見を十分くみ取った趣旨に沿った形での設定をお願いいたします。自分たちの地元の小学校をどうしていくかを住民の主体的な姿勢を活かしながら方針を決めていくことで、教育委員会が住民と協議をしてという教育委員会が主体の場ではないと思います。

意見

- 平成 22 年に教育委員会と P T A の教育を考える会議がありまして、児童生徒数が減っていく中、豊井小と永田小の統廃合についてどう考えていますかと投げかけたところ、それは教育委員会では決められないので、住民の意見があつてからこそですとおっしゃっていました。人数の適正規模ですが、小中一貫校にしても適正規模に満たないというのはやはりおかしいと思う。取り合えず一緒にしておいて、あと高社中にとつて見通しもあるのに、その期間にあるお子さんはお試しでしかありません。信濃町の小中一貫校もご覧になったということですが、信濃町の小中一貫の校舎と豊田中の校舎とは全然違います。4 年後に小中一貫校にするということは急ピッチで進めないと言ひ合いません。理念、校歌、運動会、音楽会やスクールバスのことなど、把握していないということですから 4 年後じゃかなり厳しいと思います。その辺で住民の話し合う場を私たちも作っていきますけれども、私どもの意見も十分聞き入れていただきたいということです。

意見

- 幼少の頃から豊田地区に住んでいますので、豊田地区に学校を残して欲しいと思っています。今日の資料の中に、将来的には豊田中学校が高社中学校の校区と統合も検討する必要がありとあったのですが、先ほどの審議会のメンバーの方の話ですと、答申は学校の適正規模のことしか提言をしていないと、資料の 4 ページ②のところに、答申では学校数の削減も提言されておりとあり、ここまで審議会の答申だと思いますが、学級数の基準からすると豊田中が該当するということは、教育委員会が答申から推測して豊田中が該当するとしたのでしょうか。削減する場合、学級数と生徒数から見て、豊田が隣接する高社中と統合するとしたのは、血が通っていないのだと思いました。北部地区 4 小学校が統合し、高社中と高社分離型小中一貫校を進めていく中で、豊井小と永田小との統合校の児童たちが中学校から高社中へ入学することは、カリキュラムの一貫性から適切ではないと考えます。豊田中については、豊井小と永田小との統合校との小中一教育を推進することで、学級数や児童生徒数から来るデメリットを可能な限り克服できると考えます。③では、将来的には、豊田中が豊井小と永田小との統合校と一体で高社中学校区への統合も検討する必要がある。②と③で相反することを言っているなどと思います。これは審議会の方からの答申ですので、顔を立てると言い方が適切かは分かりませんが、一応将来的には検討する必要があると書いただけなのかなあと信じたいです。ただ、そうは言っても将来的に統合しなければいけない状況が出た場合に、学級数と生徒数だけを見てなぜ高社中学校なのか、近くには中野平中学校区もあるわけですが

なぜだめなのでしょう。資料を見ると6ページに平野小と高丘小も統合も検討しているが両方とも校舎敷地が狭いので統合の位置が今後の検討課題とあります。この統合について、どこに設置するか具体的に決まった段階で、豊田中の統合もその時点で検討していただけたらと思います。個人的には、スーパーや外食の際には江部地区の中野平中学校あたりは馴染みがありますが、高社中学校区あたりには馴染みがない。長丘バイパスの七瀬から田麦、壁田と北上していくと雪深くなる。あえて子どもをそちらの方へ通わせるというのは本当に子どものことを考えているのか。それらも含め統合するに当たっては、高社中ありきでなく中野平中学校区の整備された後に考えていただきたいと思います。

回答

- 豊田中学校の保護者の中には、豊田中にこんな部活がない、だから外の学校にとお考えになっている方もいらっしゃいます。部活動の問題だけでなく、5年後の豊田中学校の人数で、県の編成基準が変わらないとした場合、先生の数も9教科そろわなくなります。そうすると、市で担任ができる適切な方を探さなければなりません。やはり9教科そろって県費の正規の方できちんとやっていただきたいという願いも持っております。

意見

- この30年間で4割の児童数が減少していると初めに書いてあります。それでこの後も児童減少が見込まれる。この30年間、教育委員会は何をしていたのでしょうか。そしてなぜ、今になって規模、人数だけにこだわった基本方針案を打ち出されたのか教えていただきたいと思います。

回答

- 数字的なものはどう説明しても数字で割り切っているじゃないかと言われればそれまでですが、教育委員は教育の中身に対してこのままで良いのかと検討してきました。

意見

- 10年前も明らかに児童の減少も分かっていたのだから、もっと前に基本方針案を出すことができたのではないのでしょうか。

回答

- 総合的に見て人口減少がわかっていた段階で何らかの手を打っておくべきだったとは思いますが。

意見

- 今までになにもされていないということと一緒にないですか。

回答

- 基本方針案を出す前に審議会で2年間審議し、その以前にも5、6年前から徐々にこ、人口減少対策や学校どうするかという話は出ていましたの色々検討して、今の方針案になっています。30年前からわかっていたにも関わらず何もしていなかったのではということについては、そこまで細かくは検討していなかったということが実情であると思われる。

意見

- 豊井小学校と永田小学校が統合したとしても単級は変わらないと思うのですが、この案の中には、1学年は2学級以上とするとあります。ということは、豊田地区の学校は統合しても、この案のような良い教育は受けられないということではないでしょうか。

回答

- 地域の皆さんの地域に学校を残すという強い願いがあって、その中でどのような教育ができるかという熱い思いも理解できます。単級でも、1学級の人数が25人とか30人になった時、体育、社会、理科などで、4~5名のグループでの課題に取り組む学習がやりやすいということもあります。

意見

- 先ほどから数字のみで基本方針案を出されたような感じですが、まだ地元の住民からの意見はほとんどもらっていないと思いますが、どうでしょうか。

意見

- 協議を十分していただく中で、決めていきたいと思います。

回答

- こういう形の説明会なのか、学校単位なのか検討し、協議の場は持ちますのでご理解いただきたいと思います。

意見

- 学校の統合を考えるとすることは、地域がどうなっていくのか地域全体を考えることに他ならないと思います。今ここにきている皆さんも地域全体で子供たちが少なくなっているということは身をもって感じていることですし、もうちょっと大勢のなかで子供を切磋琢磨して育てたいという思いは同じだと思います。どんな子どもたちを育てたいかという思いなのですが基本的な考え方のところにも書いてありますが心豊かでたくましい子どもを育てる学校教育が求められているとありますが、豊井小学校もずっと学校目標として、賢く、豊かに、たくましく この三つをずっと通して子どもたちを育ててきていただきました。この地で生まれこの地で育った子どもたちが、このふるさと豊田

を愛して豊田の地を背負って立っていくそういう子どもたちに育ててもらいたい、そういう子供に育てていこうという気持ちがあります。そういう中でいきなり統合という問題が提示されたような気がしています。地域の方で子供が少なくなってきたからちょっと考えていかなければいけないのかなという地域からの思いからではなく、今、数からではないという話はありませんが、数合わせだと思える節が多々あります。上からの押しつけという語弊があるかもしれませんが、小規模校は一緒にまとめた方がいいという思いで統合という問題が出てきたのではないのでしょうか。地域と連携、信州型コミュニティーいろんな言葉がありますが学校が無くなって私たちはどのように学校と連携すればよいのでしょうか。いくら孫のために、子どものために学校へ行ってあれこれしようとしても地域に学校が無くなってしまえばその思いはなくなってしまいます。人口が減っていく、過疎化になっていく、子どもが減っていく、それは行政にどうにかしてくれというのではなく、直にここに住んでいる私たちが真剣に考えなければいけない事だと思います。いろいろ説明をいただきましたが、少人数であるメリットもあると思います。多様な人間関係ができない、グループ活動ができないなどデメリットもありますが、全校の生徒の名前を先生が覚えてくれる、あそこのじいちゃんはこういうことをしている、本当に地域と学校が今いい関係で連携してきていると思います。どんどん話が進んでいくのではなく、もう一度ここで第一歩から考え直していくというそんなような気持ちで取り組んで欲しいと思います。

意見

- 今年、合併 10 周年記念ということですが、10 年たったらもしかして学校が無くなるということについて、市の政策の中でもう少し地域の振興策を真剣に考えなければならなかった場面もあるのではないかなと思います。学校は地域の拠点です。災害あったらここに避難する、孫が通っている、子どもが通っている学校が核になって周りに広がっていく、こういうことが大切だと思います。適正化というのは教育委員会でやるしかないのですが、市長部局でこの地域の振興策を考えていただいて、10 人減るのであれば 5 人にしてもらったり、何とか拠点の学校を見直す前に政策をお願いしたい。
- 高社校区へ豊田中学校区が移行していくという話が審議会の 18 回目でいろんな意見が出ており、小中一貫もこの辺で出ていました。15 ページにこんな文書があります。合併協議会という名称だと思いますが、ここでは、「豊田村が合併した時に、もう小中学校を合併してもいいような意見が出ている。むしろ 4 校を 3 校へということで、笠倉壁田橋ができたなら豊田は合併したがつている」という記載があります。私は合併協議会を 1 回も休まず出席しましたがこのような話はみじんも出ていません。この話がもしかして高社中学校区へととなっている元かなと思います。一例として中野平中学校という意見などいろいろな視点で考えていただけたらなと思います。高野先生の故郷をカリキュラムに取り入れてふるさと教育という話もありますが、高社中学校へ行った場合にこの素晴らしいふるさと教育というのは無くなるのか、どうなるのか懸念しています。高野先生

はじめふるさとという思いが集約されているかと思いますが、もう一度考え直していただき、地域の振興を考えていただきたい。

意見

- 私は、豊井小と永田小統合案について賛成です。ただ、小学校から中学校へ行くときに選べる体制が欲しかったと思います。笠倉橋ができれば永田の人達は高社中の方が近いだろうし、豊井の人は中野平の方が近いだろうし、今の小規模校ですと小学校ごとで団体競技ができません。野球をやるにしても、一つの学校では小さな単位でできていない、小学校はある程度の規模でやってもらいたいと思います。でも地理的な面を考えると高社中学校に強制的にとというのはなかなか難しいものがあると思います。部活動の関係もありますから、ある程度の大規模校に行った方が中学生とすればいろんなメニューが考えられると思います。あまり小規模校だといろんなメニューが考えられない中学校では寂しいと思います。子供たちは中学校になるといろんな希望をもってクラブ活動をします。今の豊田中学校ではそれができません。やはりある程度のクラスがあってその中で自分の好きな部活をやって部活動だけが中学校生活だとは思いませんが、そこから上に行くときには中学校ぐらいからいろいろやった方がいいと思います。そうした場合に自分で決めて部活動などを考えながら中学校を選べる体制がいいと思います。

回答

- 中学校を選べるということについては、検討したいと思います。

意見

- それぞれみなさんいろいろ意見があると思いますが、中々言い出せないと思いますので提案ですが、ここで挙手を取っていただきたいと思います。統合に賛成かどうか、小中一貫校で行くことに賛成かどうか、将来、高社中学校へ行くことについて賛成かどうかこの三つについて今いる方の賛否を取っていただきたいと思います。

回答

- 今の提案については、私どもで挙手を取る等の判断はできません。皆様で考えていただければと思います。

意見

- 私はこの場ではそのような事はやるべきではないと考えます。ここはあくまでも意見を言う所であって、ここで挙手をしてここで体制が分かったら、それなりに決まってしまうと思います。
- 先ほどから住民に理解をいただいて合意を得てということですが、合意を得たとする基準はどのように考えているのでしょうか。

- もう一つ、県の基準どおりでないと、先生を派遣してもらえないといくことですが、たくさん先生方はいらっしゃると思います。担任として適正かどうかというだけで、先生の評価は決まってしまうのでしょうか。それと県で先生を派遣してもらえないのであれば、市で先生を発掘すればいいと思います。県から先生を出してもらえないというのは、教育の平等からいうと理解できません。県から先生を出してもらえないときどうするのか教えていただきたい。

回答

- 現在も市教委では、近在では誇れる大人数の先生をお願いして、学校に入っています。県費で正規な先生が入らないとダメだよと言っているのではなく、基準どおりでないと、県費の正規職員が入らないという現実があります。それを市教委でどの程度カバーできるかわかりませんが、今でも学校の要望に基づいてできる限り配置しています。
- 何をもって合意ということについてですが、30日まで説明会を行い、その中での意見とパブリックコメントの意見を集約し、皆さんの考えている方向性は何かということを経験的に判断して参ります。先ほどの住民の協議の場を設けるなどありますが、そういった場を設ける中で最終案を示し、合意できるかできないかを判断いただきたいと思っています。

意見

- 一回だけではなく、もう少し説明会とかやってくさるということですか。

回答

- 説明会につきましては、PTA 単位、学校単位など要望があれば検討します。ただ、地域での住民の協議については、先ほどの説明のとおり検討させていただきます。

意見

- 教育委員会が必要なくても、地域や学校の PTA 等が必要だと判断したら、PTA 総会などの場で説明していただけるのでしょうか。今夜も、いろいろ意見を聞いた方もいたと思いますが、家のことで来られない方もいらっしゃると思いますので、学校の行事等に併せて説明していただけるとありがたいなと思います。

回答

- 対応できる範囲で説明いたします。

意見

- 壁田笠倉橋について区長さんからお聞きしたのですが、この橋は志賀高原と野尻湖を結ぶ道路を計画したら田中知事に蹴飛ばされた。しかし、ここまで計画したから地域の

連携として残したいということで、この計画が残っているという話を聞いていますが、それがいつの間にか学校統廃合の中では、この橋がかけられれば学校統合していいよというように利用されている感じがします。これは建設当時の目的とかけ離れています。18回目の委員会ではかなりまがった見方があるなど感じています。意見を言われた委員さんは、どのような理解をされていたのかわかりませんが、子どもと地域は関係ないと書いてあります。前にも言いましたが、NHKの番組で、地域と学校は密接な関係がなければ地域の過疎化が進むという番組をやっているのに、教育委員会でだれも反対せずに承認されたというのは残念なことです。今の教育委員会の話では、子どもが大事だとしています。子どもとは、保育園も含まれていると思います。市庁舎の建設も大事でしょうが、保育園児も将来を担っていく大事な宝だと思いますので、保育園などをしっかりやって、その後予算があるから市庁舎の建設をしますということでもいいのではないのでしょうか。

回答

- 保育園については整備計画に基づいて古いものから順次立替を行っております。庁舎については今後どのように進んでいくかわかりませんが、庁舎より子どもが大事という意見は関係部局へ伝えておきたいと思います。

意見

- 教育委員会としてこの後説明会を検討して開くとおっしゃいましたが、別の方の質問で要望があれば開くと回答がありましたけれどどうなのでしょう。

回答

- 住民の協議ではなく説明会ということですか、30日までの説明会の後、いただいた意見を集約していきますが、その状況により、再度説明会を開くのか、皆さんの要望があれば行うのかは検討させていただきます。

意見

- 説明の中で、皆さんの同意をもってとかご理解いただいてという言葉が何回もありました。私は統廃合は必要ないと思います。この地域にずっと住んでいるので、この地域の高齢者から若い方までみんな知っていて、子どもにもそうなってもらいたいと思います。この中でご理解いただいてとありますが、絶対に理解できません。そうなった場合には計画は白紙に戻るのでしょうか。

回答

- 理解が得られない場合には、修正になるのか白紙になるかは協議が必要ですが、白紙になる場合も絶対にないとは言えないと思います。

意見

- 先ほどからのみんなの意見をしっかり受け止めてください。いろんな意見いろんな思いをみんな持っていますので、しっかり討議してください。

意見

- 教育委員皆さんは賛成なんですか反対意見はないのですか。不思議に思います。他の教育委員の思いも聞きたいのですが。

回答

- 教育委員の中で反対の意見はなかったのかということですが、5、6年前から教育委員会では協議をしてきたということもありました。その中で、反対の意見も中にはあった事は承知しておりますが、それでも、何回も議したこの方針案を、皆さんにご理解していただきたいと思っています。ただ、この方針案中で、将来的には高社中学校区へというのと、11月に最終決定ということが、一番みなさんに引っかかってくるころだと思いますが、決定時期については見通しが甘かったのかなと感じているところであります。高社中学校区への将来的な統合という部分については、明日永田にも行きますが、皆さんの意見をお聞きし、その後まとめる中で見直す必要もあるのではないかなと感じています。
- 1学級の人数が少なくなっているその中で学んでいる子ども達を、少しでもいい環境で学習して欲しいと考えた時、それには大勢の仲間の中でいろんな意見を聞いていろんな子どもと接して自分を高めていく、そういう教育の場そういう環境が大事ではないかと考えています。それを実現するためにはどうしたらいいのか、それが統合ということの出発点であり、話し合ってきたということです。
- 最初この話が出た時には難しい話だと思いました。私も豊井小学校を出て、永田は子どもと夫が出ました。皆さんおっしゃるように地域が大切というのわかりますが、本当に子どもたちを大勢の中で学ばせてあげたいと思うようになりました。皆さんの協力を得ていい方向に進んでいけばと思っています。
- 3年前に科野小学校のPTA会長をやらせていただいたとき統合問題を提示した経過があり、その時から統合には賛成しています。その理由は、自分たちの思い、自分自身の体は永遠ではないからであります。科野小学校は現在70名ほどでしょうか、皆さんご覧のうしろの舞台に児童全員が立つ現実を見ました。今後ますます減っていくばかりだと思いましたが、地域や親の熱い思いを子どもたちに与えたいという気持ちは一緒であります。しかし、自分の子どもへ、孫へと、この思いは永遠に続くのだろうかと考えました。3年前のPTA総会の席で、この科野小学校は合併向かって歩んでいきたい、大きなところで子供たちを学ばせてより良い教育環境を子どもたちに与えてあげたいいろ

んな思いを持つ人たちはいるけれども、私が先陣をきって一番ネガティブな話題に対して口火を切るから私から先の親たちは私の思いに賛同していただきたいと申しました。その時いろいろな意見はありましたが、科野小学校の親たちはよりよい環境であるならば大好きな科野小学校を移る覚悟はあるぞという意見を出してくれたのを未だに覚えております。その時に特に地域の皆様のご意見を頂戴したわけではありませんが子どもたちのためにという観点で、入学前の保育園の親にも話をし、この先科野小学校はこういう道を歩みたいのだけれども、この意見に賛同してくれないかと話しました。学校が大好きだからこそ、このような行動をしたのだと思います。科野小学校での事例と自分の思いを述べさせていただきました。

意見

- その科野地区では説得したとおっしゃいますが、新聞では賛否両論と出ていますが。

回答

- いろいろな思いを持つシニヤの方々から、合併統合について反対だと多く意見をいただきましたが、最後保護者の方から、少し賛成の意見がありましたので、新聞の内容は事実だと思います。現在の親の意見はどうか、3年前の状況と現在があまりにも違うので聞きましたところ、親の方は3年前のとおり賛成ですと、地域の方の意見に押されて意見を言う暇がありませんでしたということでした。親の方はやはり基本姿勢として、より良い教育環境を求めるというスタンスが大変多いです。

意見

- 教育委員の発言をお聞きしました。一人ひとりこの問題に対して違う意見をもっていらっしゃると思いますのでそれはいいと思います。ただ、この問題直前に推進派の方を教育委員に加えるような姑息なやり方はやめていただきたい。明らかに意図的な人事じゃないですか。あと、他の委員さんも、子どもの人数の展開だけを述べられましたが統廃合については地域の過疎化にとってどうか、地域のつながりにとってどうかを総合的な観点から今後考えていただきたいと思います。

5 閉会 (PM8:53)